

かわさきチャレンジ・3Rニュース

「川崎市一般廃棄物処理基本計画」に基づく市の取組や、ごみ減量・リサイクル等に役立つ情報を紹介します。



かわさき3R推進キャラクター
かわるん

第27号

平成27年3月発行

住民組織団体のごみ減量等の取組についてご紹介します

町内会・自治会などの住民組織団体から推薦をいただいた廃棄物減量指導員は、「地域におけるボランティアリーダー」として、また「市と市民のパイプ役」として活動しています。

廃棄物減量指導員が中心となって行っている、ごみの減量やまち美化など、住民組織団体が独自に行っている地域での取組をいくつかご紹介します。

①ごみの減量・リサイクルに関する活動

- 資源集団回収の回収品目・頻度を増やした。
- 市の生ごみリサイクル活動助成制度を活用している。

②ごみの分別排出に関する活動

- 防火・防犯パトロール時に自治会内の集積所を点検している。
- ごみの分別と排出マナーに関する看板・チラシを独自に作成し、自治会内で貼付・回覧している。
- 排出マナーについて集積所の利用者同士で確認し合っている。
- ごみ集積所の清掃・管理を自治会員が輪番で行うことにより、ごみの減量、まちの美化に関する意識を高めることができている。



幸区・河原町2号館自治会の清掃活動

③美化活動・その他

- 自治会独自の清掃美化活動を実施しているためか、ごみの不法投棄も減ってきている。
- 集積所にカラスよけネットを設置し、ごみの散乱防止に役立っている。
- 集積所を清掃するためのごみ袋・清掃用具を購入した。



スプレー缶などは中身を使い切ってから排出してください

昨年11月にごみ収集車の火災事故が発生しました。発火原因は中身が残存したカセット式ガスボンベと考えられます。

中身の入っているスプレー缶・カセット式ガスボンベなどは、中身を安全に抜くために工夫されたキャップなどを利用し、火気のない屋外で必ず中身を使い切り、空き缶として出してください。

※ 穴を開ける必要はありません。



発火原因と考えられるカセット式ガスボンベ